

# 議会広報

# いえそん



- ◆一般質問8議員登壇……………P2
- ◆意見書……………P10
- ◆議決の結果……………P11

- ◆議会を傍聴しました……………P12
- ◆議会の活動……………P13
- ◆題字提供はこの方……………P14

第148号  
平成27年3月2日

発行／伊江村議会  
TEL:0980-49-2924  
編集・印刷／(有)サンエス  
TEL:098-889-7421



▲題字を書いていただいた  
棚原 勝さん

穏やかな性格で皆さんから愛されています。写真撮影も可愛くバッヂ!  
勝おばあちゃんの、ますますのご健勝と、ご協力をいただいたふさと苑職員の皆様に感謝申し上げ、題字執筆者紹介といたします。



▲ふさと苑の職員のみなさんと一緒に勝さんを囲んで



## 編集後記

わかりやすい、読みやすい、伝わりやすい議会広報誌をモットーとして、紙面づくりに取り組んでいきたいと思います。

村民のニーズに応える身近な広報誌となるよう、広報委員会一同務めていきたいと思います。

議会広報調査特別委員会 副委員長 仲宗根清夫

## ホームページリニューアルのお知らせ

伊江村議会のホームページが4月からリニューアルします。  
これまで同様、会議録等の詳細がご覧になれます。  
よりタイムリーな情報を発信できるよう取り組んでまいります。

## どうぞ 傍聴席へ

傍聴を希望される方は、お気軽に議会事務局までお問い合わせください。

TEL 0980-49-2924(直通)



問 現在事業が完成していない地区で各圃場に農業用水を運搬しているが、かん水車の維持費や燃料の高騰、かん水作業に莫大な時間を要している。

また、近年の台風は塩害を助長しやすく、台風通過後の塩害初期対策のため早期かん水が重要になる。

そこで、これから完成し農業用水の使用可能な地区は、伊江土地改良区設立を待たず暫定的に利

**答** 現在、かんがい排水事業が完了している地区は11地区中3地区であり、暫定利用を見送っている地区はあるが基本的に事業完了後、供給可能な地区についてはすぐに試用期間として運用していく方針である。水利用に関しての意識の高揚やかん水車の維持管理費の軽減、塩害の低減化、農作業の軽減化に寄与するためにも、時期を適切に判断し実施していく予定である。

問 平成27年1月31日、宮古市の伊良部大橋が開通する予定になっている。基礎調査から完成まで22年間の期間を要している。

架橋建設により、生活環境や福祉の向上及び地域の活性化が図られ、物流コストの低減や市場拡大による経済の活性化等、宮古圏域の地域振興に大きく寄与するものと期待されている。

現在の伊江村が抱える諸課題と一致し、課題解消の起爆剤として架橋建設は

重要だと思うが、これまでの要請活動の経緯と、これから活動内容について伺いたい。

答 每年5月、国に要請活動を行つてゐる「沖縄北部地域の道路網の整備促進並びに離島架橋の早期実現に関する要望書」並びに県の沖縄振興拡大会議において、要請活動をして いる。

去つた9月4日に来村された仲井眞前知事にも、伊江架橋の早期実現の要請をしながら、実現に向けの課題等について県で

調査検討してもらい、その結果は村にも情報提供してもらうよう申し上げた。今後も引き続き伊江・本部間の架橋建設事業の踏み込んだ内容を検討してもらうことを要望し、関係機関の意見を拝聴しながら、村民のコンセンサスを得て伊江取り組みに取り組みを進めたいと考えている。

**吉原にいた場合解決のためには**  
村長／供給可能な地区については

# 村政の ここを問う!

## 12月定例会 一般質問



3. 欧米加の新規開拓

**2. ふるさと納税制度を利用した特産品のピアールと売上促進**

**問** 村長／島の特産品の売上促進が図れるようピアール活動を充実させる

近年、納税制度に関する情報をよく見聞きする。その内容は、一定額以上の寄附をするとそのお礼として各地域の特産品を送るといふもので、沖縄県においても10市町村がこの制度を利用し、地域の産業や企業並びに特産品を全国の方にピアールしている。

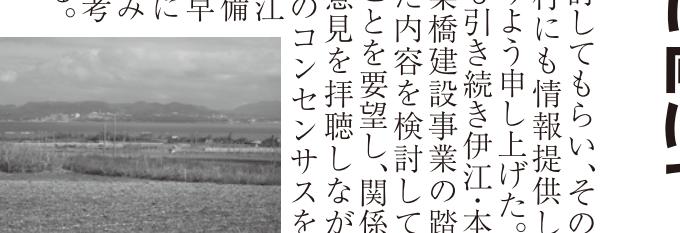
**答** ふるさと納税に対しても全国的に注目が集まり、マスコミ等でも取り上げられることが多く、本村議会でも何度か質問や意見を頂戴した。

そこで、伊江村ホームページ内に「ふるさと納税」が目に

**3. 伊江島と本部間の架橋建設**

伊江村の特産品は売り上げ伸び悩んでいると聞くが、

つきやすいようバナーを作成し、制度の趣旨や税の優遇措置を明記するほか、村の特産品の写真等を掲載し、内容充実に努めている。



#### ▲伊江島の特産品（伊江村HPより）

問  
ついてはこれまで  
も一般質問を行つた経緯  
がある。しかし、依然とし  
てフェリーの接岸不可能  
による欠航が余儀なくさ  
れている。

村民生活や物流の拠点と  
しての機能を図る観点か  
ら、早期に解決すべき問  
題だと思うが次の点につ  
いてお伺いしたい。

①今後の長期整備計画  
は。

②副村長は、国土交通省

伺つたとのことだが、要請内容と国土交通省からどのような感触を得たか。

③パンダ岸内側南北に護岸設置をすることはできなか。  
④パンダ岸に設置をした場合、漁業者の漁業補償問題はどうなるか。  
⑤鹿児島県徳之島亀徳港の事例を参考にしたらどうか。

なお、この件について

れでいいなしか離島住民  
が住み慣れた島で安心して暮らし続けることができ  
きるよう、交通生活基盤となる港湾施設の整備を行  
い、離島住民の安住条件の整備を支援することを強く求める要請文が記載されている。

▲鹿児島県徳之島亀徳港

A black and white photograph showing a large cruise ship docked at a port. The ship is multi-decked and has several funnels. In the foreground, the dark water of the harbor is visible, along with a concrete pier featuring a black and white striped safety barrier. The background shows a city skyline with buildings and trees under a clear sky.



▲伊江港港湾

# 伊江港港湾整備について

に対する具体的対策を検討する予定。

は、伊江港港湾整備の参考事例になるか検討してみたい。

今後、村として主体的  
行動一本化の方向で進むべきである。



内田竹保

は平成24年11月6日開催の臨時議会において意見書を可決し、沖縄県知事、沖縄県議会議長にも要請をしたことを受け加えて、答弁をお願いしたい。

し上げてゐるので、その調整で沖合への護岸設置の必要性とあわせ、可能性等について県と協議をしたい。

本当にこれでいいのか。  
せっかく本部港から運航  
して伊江港に入るのに接  
岸できず引き返す事例も  
多々ある。

再度、県や国に要請す  
る必要がないのか伺いた  
い。

現状のままではよ  
くないというのは  
一緒なので、1日、1年で  
も早くこの問題が解消で  
きるよう、村議会ある

**問** この件についてはこれまでにも複数の議員が一般質問を行い、平成24年には伊江村議員と大城前村長にも同行していただき、沖縄県土木建築部長にも伊江港の実現を要請した。現実は航海が十分可能な海況に回復している現状に変わりはない。

改修が行政によつて、伊江港の抜本的な改修が可能で台風襲来前後の沖出しの必要性が、伊江港の抜本的な改修を行つて取り組みたい。

**答** 喫緊の課題と思うが村長の施策と実動についての所見を伺いたい。

将来、伊江港が台風避難も可能な港になると、伊江村の地域振興と村民福祉に大きく寄与すると考えられることがから、抜本的な改修を含めた新たな長期整備計画を策定してもらうよう、関係機関に要請していく。しかし、さまざまな要因により厳しい事業計画と思うが、議会をはじめ各種団体の理解と協力を得ながら取り組みたい。

**問** 村長／新たな長期整備計画の策定を関係機関に要請していきたい

**1. 地方港湾伊江港の抜本的な改良改修について**



亀里 敏郎 議員

**問** 村長／チャーター便、不定期便かの積極活用に向けて取り組みたい

沖縄タイムスの論壇に「伊江島空港に定期便を海洋博公園まで船でアクセス」とのタイトルで投稿されている記事を拝読した。

具体的な政策提言としては、伊江島空港と羽田空港、さらに那覇空港と伊江島空港にも直行便を1日複数回就航させる。また、

**答** 将來の伊江港改修についての計画の有無を、去つた11月13日に県港湾課で確かめたところ、現時点ではないと聞きました。これまでの事業は、港湾の静穩度強化も喜ばれている。一方、個別受信機は乾電池の腐食により、停電時に遅延するなど、伊江島空港に大きな寄与するとの考え方から、抜本的な改修を含めた新たな長期整備計画を策定してもらいたい。しかし、さまざまな要因による現状に変わりはない。

改修が行政によつて、伊江港の抜本的な改修が可能で台風

襲来前後の沖出しの必要性が、伊江港の抜本的な改修を行つて取り組みたい。

**問** 村長／必要に応じて調査研修することを広めることについて

**3. 沖縄タイムスに掲載された「伊江島空港に定期便を海洋博まで船でアクセス」への対応について**

**答** 新聞での内容は理解しているが、伊江島空港は米軍訓練区域にあり、定期便をねらい、100人前後の交通アクセスの格段の利便性

がある。

島空港は米軍訓練区域に理

由の利用時間の規制等高

いハードルがあり、定期便

を考える。

たまに、チャーターベー

スの運航がある。

たまに、チャーターベー

スの運

問 米海兵隊が発表した海兵航空計画  
2015の記事によると、現在岩国基地に配備されているハリアー戦闘機を最新鋭のステルス戦闘機に更新する予定で、それに伴い伊江島のLDHデッキ周辺を改良するとの事である。この計画が実行されると、基地周辺は現状の基地被害よりもさらに深刻な状態になることが予

想される。  
米軍は現在もオスプレーの深夜にわたる訓練を行つており、最新鋭機F-15戦闘機の訓練を前提とした訓練場の改良計画には、行政が先頭に立ち反対すべきと思うが村長の考えは。

答　沖縄防衛局によると現段階では米政府から説明を受けておらず、伊江島補助飛行場の改

卷之二

1. 米国岩国基地に配備予定のF-35ステルス戦闘機の配備に伴う、LHDデッキ（通称）ハリアー・パッドの大改良計画



防風林帯が被害を受け、枯死木が至るところで目立ち、景観上も非常に悪い印象を与えていた。地球温暖化が進み、今後台風も大型で強力になることが予想される。災害に強い島づくりが今後の大変な課題だと思うが、枯死木の除去と島を取り巻く防風林帯の復活について、どのような全体計画を持っているか。

問  
さうの沖縄夕ノ  
ムスの記事、F-135  
の配備計画、訓練増強計画  
が明らかになつたといふ  
ことが書いてある。沖縄で

**答** いては、保安林環境整備事業により保安林を対象とした枯死木の撤去や危険木の枝打ちを実施しており、今年度は馬場通並里線の枯死木を撤去している。

しかし、枯死木は全員的な問題となつており、予算枠の確保が厳しく要望箇所を実施できていないのが現状である。引き続き県に撤去事業の拡充と植栽事業を強く要望しているところである。

それならばノリアリが伊江島に来るときに容認された使用協定や訓練の方法等を再度確認する機会にしたいと思っている。

## 2. 枯死木の除去と防風林帯の復

良計画の内容を承知していいことのことであつた。いずれにしても、新たな施設整備や運用強化がなされることは、基地負担の増大や騒音被害が懸念されることから、早急に国に再度事実関係の確認を行い情報収集に務めるとともに、今後の動向を注視し、議会と連携を図りながら対応したい。

は配備直前まで地元に知  
らされない二重基準が  
はつきりしたとも述べて  
いる。実際訓練が始まるま  
で詳細な計画を明らかに  
しない。現時点での新聞報  
道だけでも計画があるこ  
とははつきりしていると  
思うが村長の認識は。

答 新聞報道を見ると、  
F-135はハリアー  
の後継機と言われており、  
それならばハリアーが伊  
江島に来るときに容認さ  
れた使用協定や訓練の方  
法等を再度確認する機会  
にしたいと思っている。

問 平成27年4月から  
市町村では、子どもも・子育て事業計画を作成し、計画的給付、業務を実施することとされているが、伊江村は新制度についてどのように取り組んでいるか伺いたい。

①新制度で保育所の料金はどうのように変わるか。  
②幼稚園の入園料、保育料は現行通りか  
③県内でも5歳児問題が大きく取り上げられているが、伊江村はこの問題についてどう考えているか。

答 定は現行の「市町村民税及び所得税額」から

# 1 子ども子育て支援制度について

村長／現行の保育料と同水準で検討している

### 3. コヘズ洞穴の周辺整備

## 2. 湧出展望台

### 問 村長／休憩施設の整備に

観光で訪れる方々の憩いの場であつた展望台が老朽化に伴い解体されたが、新しい展望台の設置について村としての考えは。

業者と連携をとり、村の5歳児保育問題解決と事業  
の撤去後については必要と考えている

て  
推進に取り組みたい。

A black and white portrait of a middle-aged man with glasses and a checkered tie, speaking at a podium. He is wearing a dark suit jacket over a striped shirt and a checkered tie. The background features horizontal stripes.

## 2. 湧出展望台

育ができるよう村として支援、活用していく中で事

問  
村長／休憩施設の整備に観光で訪れる方々の憩いの場であつた展望台が老朽化に伴い解体されたが、新しい展望台の設置について村としての考えは。

業者と連携をとり、村の5歳児保育問題解決と事業については必要と考えている

て  
推進に取り組みたい。



▲枯死木が至る所で目立っている



### ▲ゴヘズ洞穴



**議決の結果****平成26年12月定例会**

議案番号	件 名	提案者	議決月日	議決結果
議案第79号	平成26年度伊江村一般会計補正予算(第6号)	村長	12月19日	原案可決
議案第80号	平成26年度伊江村診療所特別会計補正予算(第4号)	村長	12月19日	原案可決
議案第81号	平成26年度伊江村国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	村長	12月19日	原案可決
議案第82号	平成26年度伊江村後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	村長	12月19日	原案可決
議案第83号	平成26年度伊江村船舶運航事業会計補正予算(第2号)	村長	12月19日	原案可決
議案第84号	伊江村救急患者搬送船整備(医療機器等)購入事業の契約について	村長	12月19日	原案可決
議案第85号	死亡獣畜冷凍輸送事業(死亡獣畜冷凍コンテナ購入)の契約について	村長	12月19日	原案可決
議案第86号	東江前第1地区畠地かんがい施設工事(送配水路工事)請負契約について	村長	12月19日	原案可決
議案第87号	堆肥センター木材破碎施設建築工事の請負契約について	村長	12月19日	原案可決
議案第88号	堆肥センター木材破碎施設整備工事の請負契約について	村長	12月19日	原案可決
議案第89号	村営東江上第1地区土地改良事業の施行について	村長	12月19日	原案可決
議案第90号	伊江村B&G海洋センター管理条例及び伊江村畜産扱い手育成総合整備事業分担金徴収条例の一部を改正する条例	村長	12月19日	原案可決
議案第91号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	村長	12月19日	原案可決
議案第92号	伊江村国民健康保険条例の一部を改正する条例	村長	12月19日	原案可決
議案第93号	伊江村税条例の一部を改正する条例	村長	12月19日	原案可決
意見書第4号	在沖米軍によるパラシュート降下訓練事故に関する意見書(案)	議員	12月19日	原案可決
決議第5号	在沖米軍によるパラシュート降下訓練事故に関する抗議決議(案)	議員	12月19日	原案可決

**議決の結果****平成27年第1回臨時会**

議案番号	件 名	提案者	議決月日	議決結果
議案第1号	上水道浄水施設ろ過膜取替工事の請負契約について	村長	2月2日	原案可決
議案第2号	平成26年度伊江村一般会計補正予算(第7号)	村長	2月2日	原案可決
議案第3号	平成26年度伊江村船舶運航事業会計補正予算(第3号)	村長	2月2日	原案可決
議案第4号	集客イベント活性化支援事業(発電機購入)の契約について	村長	2月2日	原案可決

**島袋義範議長が選任！**

平成26年10月9日に宮古島市で開催された沖縄県離島振興市町村議會議長会臨時総会において、伊江村の島袋義範議長が沖縄県離島振興市町村議會議長会会長に選任されました。

(任期はH26.10.9～H28.10.8までの2年間)



▲離島振興市町村議會議長全国大会(東京)での島袋義範議長

## **在沖米軍によるパラシュート降下訓練 事故に関する意見書**

12月9日午後3時頃、在沖米軍によるパラシュート降下訓練中において、C-130から降下した隊員5名中5名が強風に煽られフェンスから約750m離れた提供地外の伊江村字西江前2136-6番地、同2139番地の牧草地に落下した。

落下場所は、すぐ近くに牛舎があり又一番近い集落へは330mの近距離であった。降下場所周辺は、日常農作業が盛んに行われており一步間違えば大惨事となる可能性もあった。更に今回の落下現場はフェンスから約750mも離れ、又海岸のすぐ近くで隊員の身にも危険が及ぶ状況にあった。特に今回の事故の重大さは、5名もの隊員が同時に同じ場所に落下した事であり、訓練上の大きなミスと言わざるを得ない。

4月17日には在沖米軍によるパラシュート物資投下訓練中にも事故が発生し、4月24日に事故に対する原因究明と再発防止を強く関係機関に要求し抗議も行った。

3月26日には、パラシュート高高度降下訓練中に事故が発生した。1月14日にもMV-22オスプレイを使用したパラシュート降下訓練中2名が、フェンス外に落下した事故も相次いで発生しており、今回の事故は村民に対して重大な人権蹂躪であり言語道断と言わざるを得ない。

今回の事故は今年既に5件目で、伊江村議会は度重なる在沖米軍による事件・事故に対し抗議するとともに、これまで再発防止を再三再四、強く要請してきたにもかかわらず、また今回の事故が発生したことは事件・事故に対する認識の甘さと米兵に対する安全教育が徹底されていないことを証明するものであり、強い憤りを感じるものである。

以上の事から、本村議会は村民の生命、財産、安全を守る立場からパラシュート降下訓練事故に対して厳重に抗議するとともに、パラシュート降下訓練の即時中止と本事故の原因究明とその公表を強く要求する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成26年12月19日  
沖縄県国頭郡伊江村議会

**宛先**

内閣総理大臣 防衛大臣 沖縄及び北方対策担当大臣  
沖縄防衛局 外務省沖縄特命全権大使

**【その他】****在沖米軍によるパラシュート降下訓練事故に関する抗議決議****宛先**

駐日米国大使 在日米軍司令官 在日米軍沖縄地域調整官 在沖米国領事  
嘉手納基地第18航空団司令官

## 視察・研修報告

### ●副議長の地位と役割について学ぶ

町村議会副議長研修会【内田竹保副議長】 H27.1.28

町村議会副議長研修会が自治会館において開催され、沖縄県町村議会議長会事務局長の石垣安秀氏を講師に、「副議長の地位と役割」「副議長として心掛けること」等参考事例を交えながら講義が行われた。

### ●議員としての資質向上を目指す

新人議員研修会【島袋 勉議員、山城善彦議員】 H27.1.29

那覇市の自治会館において新人議員研修会が開催され、沖縄県町村議会議長会事務局長の石垣安秀氏による「定例会の運営・一般質問・議員の心構え」についての講演を拝聴した。

議会の流れ、一般質問について事例を交えながらの内容もあり、次回からの議会活動や議員としての資質向上に活かしたい。



### ●選ばれ続ける地域とは

沖縄県離島振興市町村議長会研修【全議員】 H27.2.17

那覇市の自治会館において、「観光産業の視点で考える、県内離島の地域振興」と題し、地域型観光を実現する原動力は住民一人一人の危機感と理想の追求にあり、一部の力では変わらない。必要なのは地域の団結力、団結すればアイディアも多彩より、魅力的なプランで勝負、観光大国スイスで学んだ地域で支える着地型観光を事例に講演された。



## 議会の活動

### 平成26年12月

- 2日: 議会広報特別委員会
- 3日: 北部市町村議会議長会理事会・総会(議長)
- 5日: 葉たばこ55周年記念式典(議長)
- 8日: 火入れ式(議長)
- 12日: 議会運営委員会
- 18日: 第14回伊江村議会定例会(19日まで)
- 20日: ハイビスカップゴルフ大会前夜祭(議長)
- 21日: 名桜大学開学20周年・公立大学法人化5周年記念式典(議長)



▲平成27年1月5日／新年交歓会

### 平成27年1月

- 4日: 成人式(全議員)
- 5日: 新年交歓会(全議員)
- 6日: 消防出初め式(全議員)
- 8日: JA沖縄北部新春のつどい(議長)  
伊江島観光協会新年会(副議長)
- 10日: 第13回少年野球伊江島交流大会(副議長)
- 14日: 伊江村商工会新年会・祝賀会(議長)
- 15日: 初セリ市(全議員)
- 20日: 国・県の出先機関との新年会(正副議長)
- 26日: 奔美・やんばる広域圏交流推進協議会(議長)
- 28日: 町村議長会副議長研修会(副議長)
- 29日: 新人議員研修会(勉議員、善彦議員)



▲平成27年1月15日／全議員で初セリを見学

### 平成27年2月

- 2日: 第1回伊江村議会臨時会
- 3日: 全国離島議長会【6日まで】(議長)
- 7日: チューバンジャ祭り2015オープニング(全議員)  
第8回日本ハイビスカス協会総会(議長)
- 12日: 町村議長会定期総会(議長)
- 16日: 町村議長会議員・事務局研修会(全議員)
- 17日: 離島振興市町村議会議員・事務局研修会
- 22日: 全国離島議長会【25日まで】(議長)



▲イージマチューバンジャ祭り2015

## 議会を傍聴しました！



第14回伊江村議会定例会(H26.12/18～12/19)では、伊江中学校3年生の皆さん、伊江小学校6年生の皆さん、村婦人会の役員の皆さんが議会を傍聴しました。その中から伊江小学校6年生の皆さんのが感想文を書いて届けてくれたので一部を紹介したいと思います。



▲伊江小学校6年生の皆さん



▲伊江中学校3年生の皆さん



▲村婦人会役員(奥)の皆さん

### 「伊江島の活性化へ」

伊江小学校 6年 大城 駿

12月18日に初めて役場で議会を見に行きました。議会をする場所は、自分が想像していたものとは全然違いました。

議員さん達は議会が始まると、ものすごいぐらいの真剣な顔になったのを見て、これが伊江島の代表になつた人達の真剣さなんだなあとと思いました。そして、同時に議員さんの大切さについてもよくわかりました。なぜなら、議員さん達がいないと村民の不満や、伊江島の発展はないと思うと議員さんは、とっても重要だなあと思いました。

だから、これから伊江島の発展に向けて議員さん達に頑張ってほしいです。また、話の中で伊江島に空港を作るということを、実現させてほしいです。議員という仕事は夢があつていいなあと思いました。自分も議員になりたいと思いました。

### 「本当だったんだ」

伊江小学校 6年 知念沙羅

私たちは急きよ議会を見学することになりました。「難しい話をするんだろうな。きん張感があるんだろうな。議員が言っている意味わかるかな。」などと、私は考えていました。

議場は、テレビで見るような議会で、正直伊江島にも、「こんな場所があったんだ。」と思いました。

話し合いが始まると、みんなが静かになって、物音を立てるのが申し訳ないふんいきでした。意外にも、話し合いの内容は、私でもわかるような内容で、伊江島のフェリーや、飛行機の話などをしていました。

「伊江島から那覇空港まで、飛行機を飛ばそう。」と話をしていて、私もそうなつたら便利だろうと思っていたので、本当に学校で学んだ『住民の願いを聞いて話し合っているんだな。』と思いました。

これからも、人がいっぱい来る伊江島であつてほしいです。